

殺虫剤

エトフェプロックス粉剤

サンケイトレボン[®]粒剤

農林水産省登録 第 16985 号

性状：褐色細粒

毒性：普通物(毒劇物に該当しないものを指している通称)

有効年限：4年

包装：2kg 袋 × 10

有効成分：エトフェプロックス (PRTR・1種)・・・1.5%

トレボン[®]は三井化学アグロ(株)の登録商標です。

特長

○ピレスロイド様化合物エトフェプロックスを含む水稲用殺虫剤です。

速効性とともに残効性に優れ、長期間害虫の発生を抑えます。

○有機りん剤やカーバメート剤抵抗性害虫にも有効です。

適用病害虫名および使用方法

作物名	適用病害虫名	10アール当り使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	エトフェプロックスを含む農薬の総使用回数
稲	イネミズゾウムシ、イナゴ類、イネドロオイムシ、ウンカ類、イネゾウムシ、ツマグロヨコバイ、イネヒメハモグリバエ	2～3kg	収穫 21 日前まで	3 回以内	散布	3 回以内
	ニカメイチュウ第一世代	3kg				
いぐさ	イグサシウムシガ	2kg	—		散布	
さとうきび	ハリガネムシ類	9kg	植付時	1 回	植溝土壌混和	1 回
れんこん	イネネクイハムシ	3kg	収穫 14 日前まで	3 回以内	散布	3 回以内
畑わさび	ナトビハムシ		植付時	1 回	植溝土壌混和	2 回以内 (植付時の土壌混和は 1 回以内、 散布は 1 回以内)
			収穫 14 日前まで			
畑育苗期 ただし、植付時			散布			
畑育苗時						

使用上の注意事項

- 本剤は本田で使用するため、湛水状態(湛水深3～5cm)でまきむらのないように均一に散布し、散布後少なくとも3～4日間はそのまま湛水状態を保ち、田面を露出させたり水を切らしたりしないように注意し、また、散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。
- 本剤を箱育苗に使用する場合は次の注意を守ってください。
 - 育苗箱の上から均一に散布し、葉に付着した薬剤を払い落とし、軽く散水して田植機にかけて移植してください。
 - 軟弱徒長苗、むれ苗、移植適期を過ぎた苗などは薬害を生じるおそれがあるので注意してください。
 - イネ苗の葉がぬれている場合薬害が生じやすいので、葉に付着している露を払い落としてから薬剤を散布し、軽く散水してください。
 - イネミズゾウムシ成虫の発生が多いのと効果が劣る場合があるので注意してください。
 - 誤って過剰に使用すると葉先枯れなどの薬害を生じることもあるので、所定の使用量、使用方法を厳守してください。

- 育苗箱に本剤を使用した苗の移植をする場合は次の注意を守ってください。
 - 本田が砂質土壌の水田や、漏水田、未熟堆肥多用田の場合は使用を避けてください。
 - 本田の整地が不均整な場合はm葉害を生じやすいので、代かきは丁寧に行い、移植後田面が露出しないように注意してください。移植後田面が露出しないように注意してください。移植後は直ちに湛水し、極端な浅水、深水はさけてください。また、深植にならないように注意してください。
 - 本田への移植後低温が続く、苗の活着遅延が予測される場合は使用を避けてください。また、移植後極端な高温が続くと予測される場合は使用を避けてください。
- 本剤を使用したわさびの苗を畑地からわさび田に移植する場合には、使用した農薬がわさび田の水系に持ち込まれないよう、わさび苗に付着した土を十分に洗い落としてください。
- 蚕に対して長期間毒性があるので、近くに桑園がある場合には絶対に桑葉にかからないようにしてください。
- 散布器具、作業衣などは桑用との必ず区別してください。
- ミツバチに対して影響があるので、以下の点に注意してください。
 - ミツバチの巣箱及びその周辺にかからないようにしてください。
 - なお、ミツバチを放飼する場合は散布後、1日以上たってから行なってください。
 - 養蜂が行なわれている地区や受粉等を目的としてミツバチ等を放飼している地区で使用する場合は、関係機関（都道府県の畜産部局や病害虫防除等）への連絡を徹底し、ミツバチ等の危害防止に努めてください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、とくに初めて使用する場合には病害虫防除所等機関の指導を受けることをおすすめします。

安全使用上の注意事項

- 誤飲などないように注意してください。
- 本剤は眼に対して刺激性があるので、眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
- 散布の際は農業用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。
作業後は手足、顔等を石けんでよく洗い、洗眼・うがいをしてください。

水産動植物に関する注意事項

- 水産動植物（魚類）に影響を及ぼすので、養魚田では使用しないでください。
- 水産動植物（甲殻類、冷水魚）に影響を及ぼすので、河川、養魚池等に飛散、流入しないよう注意してください。養魚池等周辺での使用は避けてください。
- 散布後は水管理に注意してください。
- 散布器具、及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。